

にそう ふね¹ 二隻の舟¹

作詞・作曲 中島みゆき

とき
時は 全てを連れてゆくものらしい
なのに どうして 寂しさを置き忘れてゆくの
いくつになれば 人懐かしさを
うまく捨てられるようになるの
難しいこと望んじやいない
有り得ないこと望んじやいない
時よ 最後に残してくれるなら
寂しさの分だけ 愚かさをください

にそう ふね
おまえとわたしは たとえば二隻の舟
暗い海を渡ってゆく ひとつひとつの舟
互いの姿は波に隔てられても
同じ歌を歌いながらゆく 二隻の舟

じりゅう およ うみどり
時流を泳ぐ海鳥たちは
むごい摺理をささやくばかり
いつかちぎれる絆 見たさに
高く 高く 高く

あ
取えなくわたしが 波に碎ける日には
どこかでおまえの舟が かすかにきしむだろう
それだけのことで わたしは海をゆけるよ
たとえ帆い網は切れて 嵐に飲まれても

とき
きこえてくるよ どんな時も

ひめい
おまえの悲鳴が 胸にきこえてくるよ
こ 越えてゆけ と叫ぶ声が ゆくてを照らすよ
おまえの悲鳴が 胸にきこえてくるよ
こ 越えてゆけ と叫ぶ声が ゆくてを照らす

むずか
難しいこと望んじやいない
あ
有り得ないこと望んじやいのに

かぜ つよ なみ たか
風は強く 波は高く
やみ ふか ほし み
闇は深く 星も見えない
かぜ つよ なみ たか
風は強く 波は高く
くら うみ は
暗い海は 果てるともなく
かぜ なか なみ なか
風の中で 波の中で
たかが愛は 木の葉のように
わたしちは二隻の舟
ひとつずつの そしてひとつの
わたしちは二隻の舟
ひとつずつの そしてひとつの
わたしちは 二隻の舟

¹最初收錄於《East Asia》專輯中第八首，第二次收錄於《10 WINGS》專輯開頭。兩版編曲和歌詞次序略有不同，這裡採用《East Asia》版的編排。